

2021 USR ONLINE EXPO コロナ禍のなか国内を充実させ 大学の新たな価値を見出す

教育部USR推進センター評価企画グループ

李慧文、黄郁琳

一、大学の社会的責任は、台湾ではもはや目新しいことではない。

教育部は2017年から「大学の社会的責任 (University Social Responsibility,USR) プロジェクト (以下「USR計画」) を全面的に実施し、2018年にはさっそく2年計画の第1期USRプロジェクトを正式にスタートさせた。これは、大学が人を中心に据えて、社会的な責任を尽くし、大学の社会的使命を発展させ、大学の教員と学生が専門的な知識と独創性を発揮し、人文、環境、社会、そして経済など各方面における持続可能な発展のために貢献すると同時に、責任を持ち、地域の発展に必要な価値を生み出すことができる若者を育成するというものである。教育部は、各大学がUSRプロジェクトに投入するリソースが最大の効果を発揮できるようにするため、「大学の社会的責任推進センター (以下「USR推進センター」) を発足させ、全国各大学のUSRプロジェクト推進プラットフォームとしてサポート・指導のための組織とすることとした。

2020年、教育部は第1期に構築した基礎に積み上げる形で、3年計画の第2期USRプロジェクトをスタートさせた。ここでは、各大学が世界と向き合い、グローバルに連携し、国際的な場で実践を行うことを想定している。また、さらに国際的な視野と行動力を備えた人材の育成を目指している。台湾の各大学が持続可能な発展に関するグローバルなテーマを意識し、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) と関連して、自らの社会的な使命を発揮し、大学の持続可能性を定着させようというものである。

二、USRは、大学によるイノベーションを推進し、それによって、地元において新たなポジションを確立するよう促すものである

では、どのようにUSRを推進すればいいのか？ EUは2012年からEU域内で大学の社会的責任を展開している。そこでは、大学は行動によって社会と環境に好影響を与え、学生たちの市民意識を育てることを意識するものとされている。こうしたことを通じて、社会にポジティブな影響を醸成する責任があるとされている。台湾が国際的な歩みに追い付くには、まだ遅くはない。台湾のUSRプロジェクトは、5年目に入っており、これまで大学の教員や学生がキャンパスを出て、自らコミュニティに入っていく姿を見るようになった。教員や学生は、相手に寄り添いながら地域の声に耳を傾け、求められていることに共感し、関連するリソースの調整を手伝い、問題解決の方法を導入するため、地方創生に協力している。大学は、地方との関係において、USRをきっかけに少しずつ変化し始めた。大学とコミュニティは、USRをきっかけにより多くの結びつきをもつようになった。大学は、USRをきっかけとして、持続可能な発展という新たなポジションを見つけたようである。未来は無限の可能性が開けているのである。

USRはいったい大学の事務とカリキュラムにどのようなイノベーションと変革をもたらしたのだろうか。USRはまた、大学と台湾各地のコミュニティに対して、どのような対話とコラボレーションを生み出したのだろうか。USRは台湾社会のためにどれだけ努力をし、どのような貢献をしたのだろうか。新型コロナウイルスが世界的に産業や住民生活に甚大な影響を与えるなか、USRはいかにしてコロナに左右されずに、その土地に合わせてレジリエンスを発揮することができるのか。各大学が長年行ってきたUSRの取り組みが、さらに深く、さらに完成度の高いアウトプットを生み、一般の人たちにより大きな感動と

反響を起こせるよう、USR推進センターは2018年より、年ごとに「大学の社会的責任」エキスポ（USR EXPO）を開いている。このエキスポを通じて、USRの知名度を高め、USRに対する認識を広めることによって、さらに多くの大学がUSRに取り組むよう促すものである。

2018年の第1回USR EXPOは、「希望の場所（H.O.P.E：人間性、オープン、地元、エンパワーメント）」をテーマに行われた。USRが正式にスタートした最初の年のエキスポである。この年は、大学が地方の発展に貢献し、台湾の社会が抱えるニーズや問題に対応するよう促してきた。大学が「社会の希望の場所」を象徴しているということである。2019年の第2回USR EXPOは、「地元を愛し、夢を広げる」をテーマに行われた。ジャンルや地域の境界を越えて意見を交わしマッチングすることによって、各界各層の関心とサポートを集めようとする取り組みを示すとともに、大学が、より多くの地元の求めに応えようとしていること、地方とともに向上していくことを強く期待していることを示した。

2020年はUSR第2期プロジェクトの最初の年であった。COVID-19の影響で、第3回USR EXPOは初のオンライン開催となった。第2期プロジェクトのポイントと関連付けて、テーマは「地元で輝き、世界で輝く」とした。地元での取り組みをサポートすると同時に、国際的な連携を進め、USRの実践を拡大して、USRプロジェクトの目指すところを外に向かって発信していこうというものである。このオンライン展では、各大学のUSRの特徴を説明した映像や文章が初めて一堂に会し、USRプロジェクトによる成果を余すところなく一般の人たちに理解してもらうことができた。反響は非常に大きなものがあった。アクセスは延べ50万人に達し、1日当たりでは延べ3~6万人がアクセスした。

三、USR EXPOは大学の実践力を示し、新型コロナの影響にあっても教員と学生の情熱は変わらないことを示した

今年は第4回USR EXPOを開催するが、やはり新型コロナのため、観衆とはオンライン方式で対面することになる。2021 USR ONLINE EXPOは「USR. 「USR. 対話. 改革」がテーマである。あなたも私も、生活のなかでの対話から、変化に対する勇気を持つとすることで、USRがあなたの生活にも、私の生活にも密接に関連していることを示す。地域コミュニティにとっても、大学にとっても、変わるためには勇気が必要である。しかし、USRをきっかけに周囲のコミュニティや産業、生活環境が向上し、今の難点や問題が解消し、さらには長期的な利益が得られるということを提示できれば、だれもが改革を恐れなくなるのではないか。今回のエキスポを通じて、USRのイメージが伝わり、USRへの風が吹き、大学という社会の刷新につながることを期待する。

2021年の時点で、台湾では93の大学がUSRの実践を続けている。今年のエキスポでは、これまでとは異なり、特別に「校務成果部門」を設けた。各大学がそれぞれ取り組んだ校務のUSRの効果を発表するものである。大学の社会的責任とは、大学が十分に果たすべき義務のことを示している。ある大学がUSRを校務に組み入れることは、つまり、USRの価値を理解し、USRが大学の持続可能な発展にとって重要であると認識していることを意味し、同時に、校務制度がUSRを持続的に実践していくうえで重要であることを認めていることを意味する。USRを校務に組み入れることに賛同すれば、その大学が新たな役割に取り組み、教員と学生が学内でプラスの好循環を起こすことにつながる。そして、今年新設した「校務成果部門」の狙いは、USRに取り組む大学が校務として学内外におけるイノベーションによる変化や成果をサポートすることにある。非常に期待している。

COVID-19に対応して、今年のUSR ONLINE EXPOでは特別に「コロナ禍と災害に対応した改革と貢献」コーナーと「コロナ禍における国際交流モノグラフ」を加え、USRに取り組む各大学が新型コロナに対応して行った実践や貢献、優れた事例を集めた。新型コロナは、すべての人々の生活スタイルを変化させたばかりでなく、経済や産業、教育、ケアなどの社会問題を引き起こした。こうした影響を受ける中で、USRに取り組む各大学とUSRプロジェクトはこの2年の間、実行にあたって数多くの困難に見舞われるとともに

、地元で生じた新たなニーズに対応する形で運営方法を調整したり、新たなアイデアが生まれたりするケースが多数あった。今回のエキスポでは、新型コロナに対応した調整や国際交流の方法の変更・刷新といった貴重なケースをUSRプロジェクトから紹介する。オンライン開催のエキスポにおいて新型コロナに関する成果を共有し、各大学が互いに参考にし合うよう期待したい。また、USRチームが地域コミュニティとともに新型コロナに付随した困難を克服するのを支援するとともに、新たな対応策とモデルの刷新を追求していくよう願う。また、コロナ禍にあって、USRプロジェクトがいかんにして持続的に推進され、国際社会へ実践の場を広げていったのか、社会からの理解が得られればと思う。

四、オンライン展示のインタラクティブゲームでUSRを探索。台湾USRの新たな潮流につながることを期待して

今年のUSR ONLINE EXPOでは、ウェブサイトの設計全般における新展開を目指した。3Dイメージ動画により、ダイナミック・ウェブページとインタラクティブゲームなどの方法を導入したことで、閲覧者は双方向的な体験ができるようになり、USRへの理解がすすみ、また、進んでウェブサイトをクリックすることで、全国で展開されているUSRの成果が手に取るようにわかる。とくに今年は、インタラクティブゲームにおいて、登場人物の選択やプロットの設定を通じて閲覧者の参加意識を高め、サイトへの期待を高めるようにした。また、プロットをたどることによって、ウェブサイト全体の各項目を閲覧できるようになっている。

2021年のUSR ONLINE EXPOでは、USRのイメージ動画や地域ごとの成果や国際的な成果を示したマップ、寄稿文、USRの成果に関する優れた映画などを公開する。期間は12月11日から25日までの2週間。オンライン展により積極的に露出を図り、台湾でUSRの新たな風を巻き起こしたい。USRはいかんにして大学改革の新たなパイオニアとなったのか、地域と手を携え、いかんにして変革を実現していったのか、大学はいかんにして影響力を発揮し、その行動を通して持続可能な経営につながる社会環境を生み出したのか。ぜひ一緒に見ていただきたい。